

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第171回 例会報告 (4/27)

司会者 SAA 戸田 昭寿

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 吉沢 洋景

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三
斉藤 仁様 国土館大学 体育学部講師
(金メダリスト)

◆ 会 務 報 告 会長 横倉 舜三

- 1) 多摩ロータリークラブ25周年記念事業としての多摩市民環境展が4月30日から5月7日までパレテノン多摩市民ギャラリーで行われます。当クラブの会員の皆様も是非ご覧になって下さい。
- 2) 去る25日多摩東分区連絡会がありまして2月までの各クラブの実績報告がありました。当クラブも皆さんのご努力で、いい成績を納めております。ただ会員増強の目標が達成されておりませんので残された2カ月の間に努力したいと思いますのでご協力をお願いいたします。
- 3) 昨日中華航空機の事故がありましたが、国際大会は変更なく参加いたしますので、キャンセルなされないようお願いいたします。

◆ 幹 事 報 告 幹事 北村 幸彦

- 1) 例会臨時変更のお知らせ
東京多摩ロータリークラブ
5月3日(火) → 休会 「憲法記念日」
5月31日(火) → 創立25周年記念式典に振替

東京調布ロータリークラブ

- 5月2日(月) → 定款による休会
- 6月13日(月) → 会員家族親睦旅行
- 6月20日(月) → 夜間例会(うかい亭)

東京武蔵府中ロータリークラブ

- 5月6日(金) → 定款による休会
- 5月20日(金) → 創立6周年記念例会

2) 事務局移転のお知らせ

東京日野ロータリークラブ

新事務所

〒191 東京都日野市高幡1-8
高幡参道ビル4階

3) 登録料振込のお願い

東京多摩ロータリークラブ25周年記念式典の登録料をまだ振込まれていない方は至急振込んでください。

◆ 次年度会長報告

会長エレクト 宮本 誠

- 1) 本日5時から第5回被選理事会を開催して94~95年度活動計画案について審議され、承認されました。活動計画を具体化するにあたっての詰めはこれからの2ヶ月間で行い、7月からの活動に備えたいと思います。
- 2) 松原健会員の移籍に伴い空席となっている広報委員会副委員長に伊東巖会員が指名され承認されました。
- 3) 来年度の予算案作成にあたっての基本的方針が提示されました。収入の部の新入会員の入会金の取扱いについてや、支出の部の事業費項目の見直しなどがその検討課題です。

委員会報告

◆出席委員会

委員長 遠藤 二郎

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本報告	52	46	0	5	90.2%
前回訂正	52	40	6	5	90.2%

マークアップ

高野 範城 (4/22 東京中)

関岡 俊二 (4/25 西北)

欠席届出者

城倉 正博、臼井 博、若林 滋和

欠席者

大松 誠二

◆親睦委員会

委員長 吉尾 警太郎

☆誕生日祝 北村 幸彦 会員

小坂 一郎 会員

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

委員 平野 行廣

★★★★★★★★★★

隅 耕造 誕生日祝有難うございました。もう長年忘れていました。

吉尾警太郎 建主の萩生田様、元請の遠藤様、お世話になりました。本日無事終了です。

赤尾 恭雄 家内の誕生日祝をありがとうございました。本人からよろしくとのこと。

北村 幸彦 斉藤様ようこそ。卓話楽しみにしております。

永田 健作 本物よりステキな似顔絵つきのバースデーメッセージありがとうございました。論語でいう耳順になりました。縁を大切に生きてマイリタイド思っております。

根本 泰守 サントリー(株)と酒組合協賛でいきいき多摩94に出店します。若さあふれるマネキンギャル多数来店予定で楽しみです。

小城 章員 結婚記念のシャンパンをいただきました。家中で祝酒をしたので1本では不足でした。

津守 弘範 この頃大変忙しくて

関岡 俊二 斉藤さんようこそ。卓話楽しみにしております。

小坂 一郎 今日は私の誕生日全く季節のよいときに生まれたものです。父母に感謝
伊神 稔 新海さん、プロアマ優勝。赤尾さん、プロアマ準優勝。おめでとう。お客様ようこそ。

萩生田茂夫 今日は消防のコンワ会で遅刻しましたので

鶴海英三郎 結婚記念日の贈物有難うございました。

横倉 舜三 卓話に斉藤仁さんを迎えて

平野 行廣 斉藤様ようこそ。

村上 久 お客様ようこそ。

橋口 洋三 卓話「金メダルへの道」斉藤仁様、楽しみにしています。

合計 33,000円

500玉募金 25,497円

(累計 143,500円)

◆ロータリー豆知識

ロータリー情報委員長 赤尾 恭雄

前回は職業分類上の関連業種の10%の原則についてでありました。本日は職業分類の結びとして、新クラブ結成の際に職業分類上で配慮すべきことなどを報告しております。

◇近況報告◇

ロータリー財団留学生

副田 景子 様

ご機嫌よう、お久しぶりです。

現在シンガポール国立大学の大学院で大学院生として勉強しております。只今先週の月曜日に一時帰国をしております、一応研究の資料を取るのにと、あと教授とかにいろいろお話を聞かせて頂くのに一時帰国して参りました。近況報告と只今言われたので少しだけさせていただきます。かなりシンガポールは暑くて暖かくていい国なんです、勉強熱心な方も沢山多くて、また熱心だけではなくて心の暖かい人もかなり多くて生活には全く困っておりません。かなりロータリークラブが活躍しております、シンガポールには13団体ロータリークラブがあります。かなりのロータリークラブに足を運びまして、いろんな方からお話を聞いたりこちらからもお話を出来るだけさせて頂いたり、またそのクラブだけではなく外で出会いしたりしてネットワークというか輪を拡げさせて頂いております。大学院の勉強に関してなんですが、マレー研究をしております、ナショナ

リズムは多民族国家ではかなり難しい問題なんです、いろんな人から助けを頂いて頑張っております。今一時帰国なので、あと1~2年長引くかどうか分からないですが頑張っております。まだ皆様にお世話して頂くことと思いますが、よろしくお願い致します。

～お知らせ～

6月に札幌で開催されます「日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会」の案内が来ております。参加ご希望の方はお申出下さい。

卓 話 (4/20)

「昨今の社会人野球」

日産自動車野球部 OB

宿院 利幸様

まず、社会人野球は、アマチュアですから当然そこに在籍する期間は、仕事をしながら野球をやるということになります。午前中仕事をし、午後グラウンドに出て練習をするというのが一つのパターンになっています。それで、企業の中における野球部その他のスポーツ部の位置づけとしては、日産自動車の場合は、そういったスポーツを通じて何か地域に貢献したいというのが考え方の一つにあります。例えば野球部ではキャンプに行くわけですが、その時に地域の子供達などを集めて野球指導をするというようなこともやっています。社会人野球には大きな目標がありまして、それは都市対抗野球に出るといことなんです。私は昭和45年に日産自動車の野球部に入りまして、4年間やったんですが、やはり都市対抗野球に出ることが最大目標でした。社会人の場合は、二大イベントがありまして、まずこの都市対抗、球場は今でいう東京ドーム、旧後楽園に出場するということと、それから全日本選手権というのがありま



して、これが秋に大阪で行われますが、この二つに出ることが前提となって、日産のみならず他の企業も努力しているわけです。昨今バブルがはじけまして、名門の野球チームがかなり休部、或は解散ということで非常に寂しい思いですが、熊谷組や日本鋼管の川崎、日本鋼業や静岡の大昭和製紙などもこういう形をとった。北海道にあった大昭和製紙白老も休部をとった。ここ白老は小さな町で、野球がとても地域住民の方々と一体となって応援されています。そういう意味で何とか野球部を復活してほしいということで町ぐるみ本社にかけあって存続をみたということもありますがなんと厳しい状況にあります。幸いにも日産自動車は今年も後楽園の出場に向けて精一杯頑張っております。私は小学校2年生(北海道)の頃から野球を始めまして、最初はキャッチャーでした。それから中学に行きましてキャッチャーを続けたわけですが、中学生当時の大会というのは、全道大会というのがありまして、全道各中対連という組織の中で、それぞれ勝ち上ってきた中学生が、中島球場というあこがれの球場で試合に出るといのが目標でした。そのためには、やはりレギュラーにならないと、ユニホームを着ないとベンチに入れませんので一生懸命練習をやりました。3年になってその全道大会に出ることができました。高校は北海道では常勝北海高校が甲子園の出場学校でしたので、私も北海高校に行きたかったのですが、目が悪かったものですから断念しました。北海道では北海高校ともう一つ肩を並べるのが札幌商業というのがありまして、甲子園の出場回数もわずかでしただけ、私の時代にはとても古豪というチームでした。この学校から誘われましたので、入学しましたが、目標の甲子園への出場は果せませんでした。私は札幌商業時代も2年生の春からユニホーム、いわゆる背番号のついたユニホームを着ることができたんですが、入部してすぐその日から今まで握ったことのない硬式ボールを先輩に至近距離から思いきり投げられてずいぶん怖い思いをしました。このような練習よりももったき

つかったのは、しごきでした。殴られるのは当たり前でしたし、もっともきつかったのは、机の上に正座させられ、足の間にバットを挟まされ、バットでコンとやられるので、痛くて痛くて机から転げ落ちると、又殴られました。そういうことに耐えながら何とか頑張ったわけですけど、やはり甲子園へは行けませんでした。その理由の一つというのは、今プロ野球ヤクルト球団のコーチをしている若松という選手、彼が北海高校だったんです。3年の時に互いに勝ち進みまして決勝までできました。ところが、彼は予選が始まる前に足を骨折したんです。我々はもう彼が骨折したからこれで勝てる、絶対甲子園へ行くことは間違いないと思いました。奴がいない北海は怖くない。甘かったんです。勝ち進んでいって決勝の朝グラウンドに行きますと、若松がバッティング練習をやっているんです。足首にサポーターを巻いてやっているんです。これはまずいという気持ちが結果的に駄目になったと思いますが、彼は3番バッターで、私はピッチャーでしたから ____ 高校時代一寸経緯があってピッチャーになった ____ チャンスに彼にホームランを打たれまして負けてしまいました。若松憎しというよりも見事という気持ちはありました。それまでのゲームを出ないで、やはり我々のゲームに照準を合わせて彼は調整をしてきたので、その結果に見事というほかはありませんでした。まあ若松に甲子園の夢は断たれましたが、確かに素晴らしい技術の持主でした。留萌の出身で櫓を漕ぎながら小さい頃からやってきたので、足腰のバネ、身体全体のバランス、それと腕っ節、こういう物が揃ってプロに行ってもあれだけの大選手になったわけです。それともう一つ、彼がプロ野球で大成した理由は、非常に人間ができていました。天狗にならず、周囲に気を使いながら、自分のやるべきことをしっかりやっていたという人物でした。

私は東京の大学に行くことになりまして、大学でも何とか野球をやることができたんですが、ただ肩と肘を壊しまして、3年の時にはもう野球にはあまり練習も出られない状態でした。その時に出会った方が、小説家で藤原審二という方です。この方は「秋津温泉」とか「赤い殺意」などを書き、直木賞をとった作家ですが、この方が野球チームを持ってまして、一寸手伝ってほしいということで、鍼やマッサージでどうにか放れるようになり、1年間位そのチームを手伝いました。それが日産自動車に入る切っ掛けになったんです。というのは、日産自動車とそのチームが練習試合をやることもありまして、私が放った時に日産のレギュラー陣を押えたんです。当時の日産というのは、後楽園には常に出ているチームとして選手の中には有名な方もおりました。そういう方々を押えたので日産入りということになったわけです。日産の中で4年間野球をやりましたが、二度後楽園に出ました。我々の評価は、先に言いましたが後楽園、即ち都市対抗に出られるかどうかです。地方大会がいくつかあります。でも地方大会でいくら優勝しても、たとえ後楽園に出て一回戦で負けてもやはり後の方が評価されるんです。二度の内、一度準優勝でした。相手は日本鋼管でした。私は昭和48年に野球部をあげたわけですけど、その後昭和59年にやはり同じ日本鋼管と決勝戦を行ないこれをやぶって初めて都市対抗で優勝したという経緯があります。いずれにしても私は小さい時から野球をやっていましたけど、野球をやっていてよかったと思っているのが今の実感です。こうして皆さんの前でお話を出来ること、野球をやっていたお陰ですし、社会人として通用したのも野球の中で上下の関係、或は人との対応、こういった事があったればこそ、今の自分があるのかなと考えている次第です。

東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤ/バンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F

TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30